

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	“花と山と水”でもてなす村づくり事業
事業主体 (連絡先)	大桑村 木曾郡大桑村大字長野 2778 大桑村役場総務課企画係
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,098,678 円 (うち支援金: 862,000 円)

事業内容

村では毎年村内の国道沿線や河川敷等の支障木伐採等の景観整備事業を行っています。今年、国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所長と「国道19号大桑村内における植栽等の管理に関する覚書」の締結をしたことで、広範囲にハナモモの植栽ができることとなり、本村および木曾路を訪れる観光客や通行するドライバーが、ハナモモと中央アルプス、木曾川を眺めながらドライブできるよう景観整備を実施。

- ・国道19号沿線の支障木伐採、草刈り：5月中旬～6月初旬
- ・ハナモモ植栽：6月10日(土)、ハナモモ65本植栽、村民33名参加



【植栽の様子】

【目標・ねらい】

- ①ハナモモ植栽箇所の拡大
- ②住民参加によるハナモモ発祥の地という意識の高揚
- ③広域的な景観整備(形成)への発展(木曾のイメージアップ)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・景国道19号を通行する観光客やドライバーがハナモモと中央アルプス、木曾川を眺めながらドライブする事ができ、本村および木曾地域のイメージアップが図れる。H29年度植栽65本。
- ・ハナモモの植栽には住民参加により実施し、植栽した苗へ自分の名前等記載した木札を取り付けることで、ハナモモの成長と愛着を持ってもらうことができた。
- ・この事業により、国・県と連携し木曾地域の広域的な景観形成および観光振興へ繋がっていくことが期待できる。

※自己評価【B】

【理由】

今までに無く広範囲にハナモモを植栽することができ、モデル地区として多大な事業効果が得られた。また住民参加により植栽ができ事業目的どおり実施できたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

ハナモモが成長し一面「赤」「白」「ピンク」の花が咲くよう継続的に草刈り等の整備をしていく。村内の他の国道沿線等の景観整備も、他団体と協議しながら計画的に実施していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある